

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カナの家		
○保護者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	85名	(回答者数) 73名
○従業者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内に医師やセラピストなど他職種がいるため、一人の子どもへの支援に対して連携をとりやすい。	他職種と連携し保育所等訪問支援やケース会議などを定期的に行っている。	情報共有の場をさらに設けて支援の充実を図っていく。
2	年齢ではなく発達特性に配慮したクラス編成を行っている。	集団活動の中でも個別の配慮を行っている。	専門的支援を行う際、それぞれの子どもの目標の理解を深め、達成に向けて支援を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的知識をもつ人員が育ちにくい。	複合施設のため、法人内での人事異動があり、人員の入れ替わりがあること。	サポート体制として経験の浅い職員へ勉強会を行なう。外部研修に参加し、職員へ伝達研修を行う。
2	送迎バスの時間など希望に添えないことがある。	曜日によって送迎バスのコースが異なること。	到着時間については運行上の支障のない範囲で対応していく。
3			